

戦国時代の厳島神社

～「房頭覚書」を読む～

戦国時代の厳島神社で社家として活躍した棚守房頭。この講座では、彼が記した「房頭覚書」をテキストとして、受講者の皆さんと一っしょに読み進めていきます。とくに大内・毛利氏の厳島信仰、社家三方（社家、内侍、供僧）と棚守房頭の関係、厳島神社の神事・祭礼の変遷に関する記事などを取り上げ、関係する古文書等で裏付けながら、具体的に考察します。

- 日 時：平成 25 年 2 月 13 日・20 日・27 日
水曜日 13：30～15：00 （全 3 回）
- 会 場：県立広島大学（広島市南区宇品東 1 丁目 1-71）
- 講 師：県立広島大学宮島学センター 助教 大知徳子
- 内 容：

第 1 回	2 月 13 日	大内氏の厳島信仰と棚守房頭
第 2 回	2 月 20 日	毛利氏の厳島信仰と棚守房頭
第 3 回	2 月 27 日	棚守房頭・元行父子と社家三方

- 受講料：1,000 円
- 募集人数：10 名
- 対 象：これまでに県立広島大学の宮島学関連講座を受講したことのある方
※古文書（活字）の読解に関心がある方を対象とした中級講座です。
演習形式で行います。
- 申込方法：往復はがきで、往信面の裏に、①郵便番号、②住所、③名前（ふりがな）、④電話番号を、返信面の表に申込者の郵便番号、住所、名前（「〇〇様」）をご記入の上、平成 25 年 1 月 29 日（火）（消印有効）までにお申し込みください。
- なお、申込多数の場合は抽選とし、抽選結果は申込締切日以降に返信はがきでお知らせします。当選者の方には受講案内と受講料振込案内を封書でお届けします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

- 申込・問合せ先：〒734-8558 広島市南区宇品東 1 丁目 1-71
県立広島大学地域連携センター「房頭覚書」講座係
電話（082）251-9534（平日：9:00～18:00）
- 主 催：県立広島大学地域連携センター



講座内容



第1回 大内氏の厳島信仰と棚守房顕

山口の大内義隆は、天文10年（1541）、厳島神社の藤原神主家を滅ぼし、実質的な支配者となった後、度重なる戦乱によって断絶の危機に瀕した神事・祭礼の復興に力を入れました。第1回の講座では、棚守房顕の目線で大内氏の厳島信仰を読み解いていきます。

第2回 毛利氏の厳島信仰と棚守房顕

毛利元就は、厳島が大内氏の支配下にあった時期から、御師である棚守房顕を通じて、厳島神社に深く関わっていました。第2回は、毛利氏の厳島信仰について、大内氏支配下から厳島合戦直後の時期を中心に、読み解いていきます。

第3回 棚守房顕・元行父子と社家三方

棚守房顕は、自らが獲得した神社内での地位や経済的基盤を、毛利氏の庇護のもとで息子の元行に引き継がせました。第3回は、房顕の晩年を記した記事を中心に、棚守房顕・元行父子と社家三方の関係を読み解いていきます。